

2025 年 12 月 29 日

各 位

株式会社東邦システムサイエンス

CDP「気候変動レポート 2025」にて 2 年連続「B」スコアの評価を獲得

株式会社東邦システムサイエンス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：小坂友康、以下「当社」）は、環境評価の情報開示を国際的に取り組む非政府組織（NGO）である CDP（※）が公表した「気候変動レポート 2025」において、「B」スコアと評価されましたのでお知らせいたします。

取り組みの評価は「A、A⁻、B、B⁻、C、C⁻、D、D⁻」の 8 段階で行われ、当社は「B」を獲得し、昨年に引き続き 2 年連続で評価されました。

CDP において、「B」スコアはマネジメントレベルと評価され、「環境によるリスクやその影響の管理を実施している」と評価されたことを示すものです。

当社は、2023 年度に TCFD へ賛同し、2050 年度までには実質カーボンニュートラルを目指して取り組み（◆）を進めております。



※ CDP について

CDP は、2000 年にイギリスで発足した国際的な環境非政府組織（NGO）であり、世界需要企業の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、当該結果を機関投資家向けに開示することで、企業の環境情報開示と環境活動の促進を目指しています。

CDP 公式サイト：<https://www.cdp.net/ja>

◆「サステナビリティ経営」の推進

当社は「TSS Economic Vision500」のもと、「お客様と共に未来を創る」をスローガンに、「お客様が求める価値を共に創造し実現するとともに、その先にある社会課題の解決を図り、持続可能な未来社会を創る」をビジョンとして掲げています。

サステナビリティへの取り組みについては、「サステナビリティ基本方針」を定め、社会と当社の持続可能性向上を目的とした「サステナビリティ経営」を推進しています。

そのうえで、CDPの質問書に回答することにつきましては、当社の「サステナビリティ経営」を評価していただく機会とし、下表の視点に基づき、当社が行うべき新たな課題の発見と成長につなげるための挑戦ととらえています。

推 進 視 点	目 的
TCFDの情報開示における応用転換	CDP（気候変動質問書）はTCFDと整合しており、TCFD同様、CDPの質問書に回答することを通じ、気候変動に関わるリスクを把握し、経営戦略の策定に役立てるためです。
ESG投資選定	ESG投資の定義*を正しく理解しており、近時、日本国内におけるESG投資の運用資産額は年々増加傾向にあります。CDPスコアは、投資家が投資先の企業を選定する基準の一つです。現在、Google Financeにて、CDPの気候変動スコアが企業情報の一部として表示されており、企業価値を示す一指標としてもスコアの重要性は増している背景から、今後もスタンダードな投資手法として浸透していくと考えられるため、意識しております。
環境意識を育む企業文化の醸成	CDPスコアアップを図ることにより、ESG投資先として選定される側面だけでなく、環境に配慮した経営推進企業としてのブランディングにつなげ、投資家との対話促進の機会を創出していくとともに、人財である当社の仲間の一人ひとりの意識を高め、高い倫理観の醸成を図るためです。

*JSIF「日本サステナブル投資白書 2020」（P.16） <https://japansif.com/2020.pdf>

社会における環境問題への関心は日々高まっており、質問書に回答する企業の増加に加え、質問内容や審査の厳格化など、取り巻く環境は一層厳しくなっています。こうした状況の中でも高い評価をいただけるよう、当社は「サステナビリティ経営」に積極的に取り組んでまいります。

具体的な取り組み内容については、当社HPのサステナビリティサイトをご覧ください。

●関連サイト(当社)

- ・サステナビリティサイト：<https://www.tss.co.jp/tabid/593/Default.aspx>
- ・IRニュース【IR資料等】：<https://www.tss.co.jp/ir/tabid/558/Default.aspx>

今後も当社は、気候変動対策を継続的に推進し、非財務情報の開示を積極的に実施しながら企業価値の向上と、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東邦システムサイエンス 経営企画部経営企画課
電話番号：03-3868-6061 メール：info@tss.co.jp

以 上